

広島市公文書館 事業概要

令和 2 年 度 版

広島市公文書館

目 次

I 概 要

1	公文書館の歩み	1
2	組織及び事務分掌	1
3	施設の概要	2
4	決算	2
5	公文書館運営委員会	2
6	啓発・普及	2
7	条例・規則等	3
8	主要年表	3

II 利用状況

1	公文書等の利用	5
2	広島市刊行物の販売	6

III 収蔵資料の概要

1	収蔵資料数	7
2	主要な収蔵資料	7
3	デジタルアーカイブ・システム	8

IV 歴史資料の収集・整理・保存

1	歴史資料の種類	9
2	歴史資料の整理	9
3	寄贈の受入れ	9
4	マイクロフィルム	9
5	歴史資料目録の作成状況	10

V 行政資料等の収集・管理

1	本市行政資料	11
2	図書等（他都市の行政資料等）	11

VI	所蔵資料等の利用促進事業	
1	令和2年度の展示会開催状況	11
2	ホームページでの情報発信	11
VII	公文書館「紀要」の刊行	12
VIII	市史の編さん	
1	市史編さん事業の概要	13
IX	文書の引継ぎ・保存・廃棄	
1	文書の引継ぎ	15
2	文書の整理・保存	15
3	歴史資料文書の選別・文書の廃棄	15
4	マイクロフィルムによる保存	15
X	情報公開制度・個人情報保護制度	
1	情報公開制度	16
2	個人情報保護制度	16
3	情報公開・個人情報保護審査会	16
XI	令和2年度の主なできごと	18

I 概 要

1 公文書館の歩み

広島市は、昭和 20 年 8 月 6 日の原子爆弾被爆によって、公文書をはじめ多くの歴史資料を焼失した。

一方で、政令指定都市移行に向けて、昭和 46 年から昭和 50 年にかけて周辺 13 か町村との広域合併を進めたが、これらの町村役場には、焼失した旧広島市域の歴史をうかがわせる近世以来、とりわけ明治以降の町村制期の貴重な公文書が多数保管されていた。

歴史資料の散逸・焼失は、こうした大きな行政機構の変動の際に特に起こりやすいことから、それを防ぎ、さらに、合併 9 か町の町史（誌）及び当時既に着手していた戦後史「広島新史」の編さん過程で収集した資料を体系的に整理・保存し、恒常的な活用を図る体制を整える必要があった。

そこで、広島市公文書館条例（昭和 52 年 3 月 31 日公布）により、昭和 52 年 4 月 1 日、公の施設として広島市公文書館を設置した。当時、公文書館の名を冠する施設を有していたのは国、東京都のみであり、文書館その他の類似施設も全国的にみても多くはなかった。

開館当初は資料を収蔵する書庫もなかったが、翌昭和 53 年 3 月市立中央図書館の地下書庫を借用・改修して書庫・作業室兼閲覧室を設けた。その後、市史編さん室と一体的な組織として、収集した史資料類の保存・活用を図るための専門施設として業務の充実に努めてきた。

開設以来 10 年目を迎えた昭和 61 年 1 月、市役所西庁舎に移転し、同年 4 月には市史編さん室の廃止に伴いその業務を引き継いだ。また、組織も 2 係制とし、6 月には、公文書公開制度の統一窓口としての役割を開始し、現在に至っている。（p3 I の 8 「主要年表」参照）。

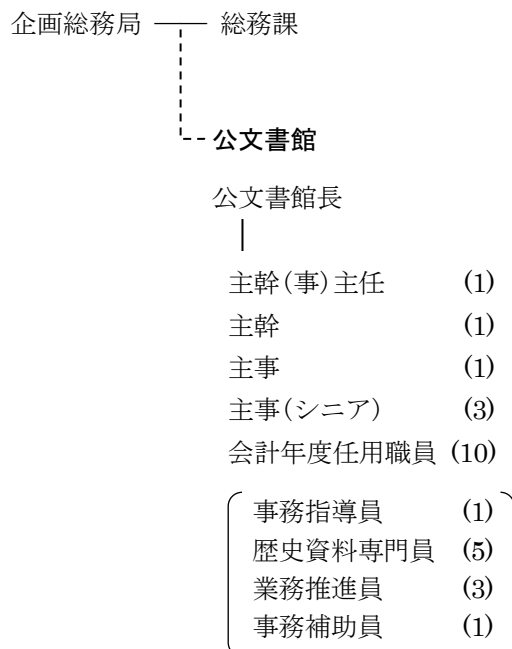
さらに、平成 8 年 4 月から市長の資産等の公開窓口や同年 10 月から個人情報保護条例に基づく個人情報の開示・訂正請求の窓口としての役割も果たしてきた。平成 13 年度からは公文書公開制度を情報公開制度に改め、より一層の情報公開に努めている。

平成 16 年 6 月、市街地再開発事業により建設された大手町平和ビルに、事務室・閲覧室・資料室（書庫）等を備えた新館が完成し、同年 7 月に移転、分散して保管していた資料の大部分を館内で集中して管理し提供できる体制が整った。

2 組織及び事務分掌

(1) 組織（企画総務局の出先機関）

（令和 3 年 4 月 1 日現在）



(2) 事務分掌

- ① 情報公開制度及び個人情報保護制度の総括
- ② 市長の資産等の公開に関する事務
- ③ 歴史資料の収集・整理・保存・利用相談・調査・研究・普及
- ④ 行政資料等の収集・管理・利用
- ⑤ 市刊行物の販売
- ⑥ 保存文書の引継ぎ・保存・廃棄
- ⑦ マイクロフィルムの管理
- ⑧ 市史の編さん
- ⑨ 館の庶務

3 施設の概要

(令和3年4月1日現在)

(1) 所在地

〒730-0051

広島市中区大手町四丁目1番1号

大手町平和ビル6階～8階

(2) 面積

全体面積 2,524 m²

(北庁舎地下書庫 302 m²を含む)

【部門別内訳】

管理部門 285 m² (事務室 163 m²)

利用部門 378 m²

(閲覧室 268 m²)

(開示室 15 m²)

(研修・会議室 43 m²)

(展示ロビー 52 m²)

作業部門 139 m²

保存部門 1,321 m²

(6階資料室 618 m²)

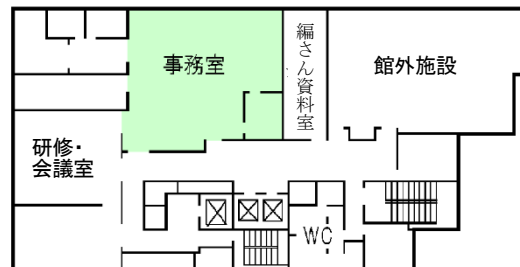
(7階資料室他 345 m²)

(フィルム保管室 56 m²)

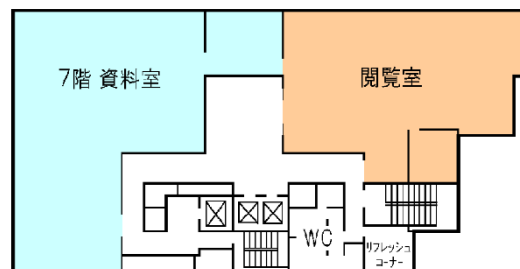
(北庁舎地下書庫 302 m²)

その他 401 m²

8階



7階



6階



4 決算

令和2年度の事業別の決算状況は、次表のとおりである。

(単位: 千円)

区 分	決算額
物 件 費	44,237
公文書館管理運営	40,032
情報公開制度・個人情報保護制度の運用	179
保存文書の管理事務	3,856
公文書館紀要の編修発行	170
人 件 費	86,329
合 計	130,566

5 公文書館運営委員会

広島市附属機関設置条例に基づき、公文書館の運営に関する重要な事項を調査・審議するため、広島市公文書館運営委員会を設けている。運営委員会は委員6人をもって組織し、任期は3年で現委員は令和3年12月9日までの任期となっている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会議は開催せず、書面による報告を行った。

《公文書館運営委員会委員名簿》

(令和3年4月1日現在 50音順)

氏 名	役 職 名
安藤 福平	元広島県立文書館副館長
宇吹 暁	元広島女学院大学教授
勝部 真人	広島大学名誉教授
杉本 俊多	広島大学名誉教授
曾根 幹子	広島市立大学名誉教授
西本 雅実	中国新聞社特別編集委員

6 啓発・普及

(1) パンフレット (カウンターでの配布)

(2) 市政出前講座

市民の求めに応じ、地域に出向いて、情報公開制度・個人情報保護制度及び広島市の歴史を説明している。(令和2年度は実績なし)

(3) 職員研修

各区等の担当者の研修会等において、情報公開制度・個人情報保護制度の概要について研修を行うほか、研修センター等の求めに応じ、情報公開・個人情報保護や広島市の歴史及び戦後復興などの研修講師としても職員を派遣している。

(令和2年度 12回)

職員研修実績

令和2年度の新規採用職員研修は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、Web受講となり、講義内容の録画による対応を行った。

《広島市の歴史関係研修》

実施月	研 修 名
4 月	新規採用技能業務員研修(対面)
5 月	新規採用職員研修(オンライン)

《個人情報保護研修※》

実施月	研 修 名
	<対面研修>
8 月	火災調査課程研修
9 月	安佐南区職員研修
	<オンライン研修>
5 月	新規採用職員研修
7 月～8 月	新任課長補佐級職員研修
8 月～3 月	実務研修

※情報公開制度の解説も同時に実施。

7 条例・規則等

公文書館の管理運営に係る主要な規程は次のとおりである。

- 公文書館法
 - ・ 広島市公文書館条例
 - ・ 広島市公文書館条例施行規則
- 広島市附属機関設置条例
 - ・ 広島市公文書館運営委員会規則
- 広島市情報公開条例
 - ・ 広島市情報公開条例施行規則
- 広島市個人情報保護条例
 - ・ 広島市個人情報保護条例施行規則
- 広島市情報公開・個人情報保護審査会条例
- 政治倫理の確立のための広島市長の資産等の公開に関する条例
 - ・ 政治倫理の確立のための広島市長の資産等の公開に関する条例施行規則
 - ・ 政治倫理の確立のための広島市長の資産等の公開に関する実施要領
- 広島市文書取扱規程
- 広島市行政資料管理規程
- 広島市公文書館管理運営要綱
- 広島市公文書館条例に基づく公文書等の利用申請に対する処分に係る審査基準

8 主要年表

昭和

- 46.7 【国立公文書館開館】
 - 49.4 総務局総務課内に市史編さん担当主幹配置
 - 50.7 総務局に市史編さん室を設置
広島市史編修委員会を設置（附属機関設置条例の改正）
「広島新史」編さん事業に着手
 - 51.9 合併町史の刊行開始（「可部町史」）
今堀誠二氏（広島市史編修委員会専門部会代表）が市長に対し「広島市公文書館設立要望書」を提出
 - 52.4 広島市公文書館を設置
広島市公文書館運営委員会を設置
 - 53.3 広島市公文書館「紀要」第1号を刊行
広島市公文書館運営委員会第1回会議を開催
 - 54.3 所蔵資料目録第1号「戸坂村役場文書目録」を刊行
 - 55.9 第1回特別展「ひろしま今昔」を開催
 - 56.4 「広島新史」の刊行開始（資料編Ⅰ）
全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（全史料協）に加入
 - 58.4 新文書管理システムの開始
 - 58.9 事務改善委員会「行政資料センター（仮称）基本構想〔暫定施設分〕」を策定（公文書公開制度の開始に併せた西庁舎における情報の総合的・多機能施設の整備構想）
 - 59.7 行政資料登録制度の開始（行政管理課所管）
 - 61.1 西庁舎に移転
 - 61.3 公文書公開条例公布
「広島新史」編さん事業終了
市史編さん室廃止
 - 61.3 組織改正により2係制となり、行政管理課から保存文書の引継ぎ・保存・廃棄事務・行政資料の管理事務移管（行政資料室規程を行政資料管理規程に題名改正）
廃止された市史編さん室の業務を移管
 - 61.6 公文書公開制度を開始
広島市公文書公開審査会を設置
 - 62.3 「公文書館だより」第1号を発行
 - 62.7 広島市公文書公開審査会第1回会議を開催
 - 62.12 【公文書館法公布（63年6月施行）】
- 平成
- 元.4 「図説広島市史」を刊行
 - 3.2 「戸坂村史」「中山村史」を刊行

- 4.2 「井口村史」を刊行
- 4.4 被爆 50 年記念史編さん事業開始
- 5.4 個人情報保護制度を要綱で開始
- 8.3 個人情報保護条例公布（4 月一部施行、10 月全部施行）
「被爆 50 周年 図説戦後広島市史 街と暮らしの 50 年」刊行
- 11.5 【行政機関の保有する情報の公開に関する法律公布（13 年 4 月施行）】
- 11.6 【国立公文書館法公布（12 年 10 月施行）】
- 13.3 公文書公開条例を全部改正し、情報公開条例を公布（4 月施行）
- 13.7 「被爆 50 周年 図説戦後広島市史 街と暮らしの 50 年」再版
- 13.11 広島県市町村公文書等保存活用連絡協議会（広文協）発足・加入
- 14.2 市街地再開発事業による西庁舎取り壊しに伴い仮移転
- 15.5 【個人情報の保護に関する法律等関連 5 法の公布（一部施行。完全施行は平成 17 年 4 月 1 日）】
- 16.3 個人情報保護条例を全部改正、公布（4 月一部施行、6 月全部施行）
- 16.7 大手町平和ビルの竣工に伴い移転
- 17.6 被爆 60 周年記念事業「描かれたHIROSHIMA 展」開催
- 19.9 公文書館開館 30 年特別展「ひろしま・歴史への誘い」開催
情報公開条例を一部改正（開示請求者の範囲の拡充）
- 20.4 行政情報検索業務システム本格稼動
- 21.7 【公文書等の管理に関する法律公布（23 年 4 月施行）】
- 21.8 市制施行 120 周年展「ひろしま・人と街の物語」開催
- 24.6 「紀要」第 25 号を発行（発行再開）
- 24.7 電子決裁等の文書管理システムの開始
- 26.1 画像データや目録情報を web で公開するデジタルアーカイブ・システムを導入（27 年 10 月から、画像及び目録データの公開を開始）。
- 26.4 被爆 70 周年記念事業として「被爆 70 年史」の編さんに着手
情報公開条例及び個人情報保護条例を一部改正
情報公開・個人情報保護審査会条例を施行（広島市情報公開・個人情報保護審査会を設置）
- 27.9 個人情報保護条例及び個人情報保護条例施行規則を一部改正（10 月施行）
- 28.3 情報公開条例、個人情報保護条例及び公文書館条例一部改正（4 月施行）
- 30.3 行政情報検索業務システム運用終了
- 30.7 「広島市被爆 70 年史」を刊行
令和
- 元.7 「広島市被爆 70 年史」の索引を公開
- 2.2 広島市公文書館管理運営要綱及び広島市公文書館条例に基づく公文書等の利用申請に対する処分に係る審査基準制定
- 2.8 ホームページに「Web 展示会」（開設当初は Web 資料展）及び「デジタルギャラリー」（開設当時は Web ギャラリー）を新設し、展示資料等がダウンロードできる体制を整備。

Ⅱ 利用状況

1 公文書等の利用

公文書館では、広島市公文書館条例に基づき、公文書等を市民・職員の利用に供している。

(1) 利用形態

ア 閲覧・撮影

閲覧室において閲覧に供している（無料）。手持ちカメラ等での撮影も可。

イ 複写

申請を受け、複写機による複製、デジタルデータの電磁的記録への複写を行っている（有料）。

《参考：写しの交付手数料等》

白黒複写 10 円／1 枚
 カラー複写 20 円／1 枚
 CD-R 100 円／1 枚
 DVD-R 130 円／1 枚

ウ デジタルデータの提供

写真・絵葉書・公文書等の画像データをメール等で交付している（原則として画像データが作成済みであるもの）。

エ 利用相談（レファレンス）

資料検索等の利用相談を閲覧カウンターで行っている。メールや電話での相談にも応じている。

オ 展示会への資料貸出

公共団体等による学術の振興、文化の普及等の目的で開催される展示会に限って、資料の貸出しを行っている。

（令和 2 年度実績は 4 件 64 点）

(2) 開館時間及び休館日

ア 開館時間

午前 9 時～午後 5 時

イ 休館日

日曜日、土曜日、祝日
 12 月 29 日～1 月 3 日
 8 月 6 日

(3) 閲覧室入館者数（開館日数 225 日※）

2,520 人

※ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、4 月 17 日から 5 月 17 日まで臨時休館（旧館日数 17 日）。

(4) 令和 2 年度利用状況

区 分	申請者数 (件)	利用件数 (点)	複写枚数 (枚)	提供データ 枚数 (枚)
市民利用 (含民間団体等)	839	4,470	6,017	1,944
職員利用 (含公益法人等)	151	768	404	468
合 計	990	5,238	6,421	2,462

市民利用（令和 2 年度）

月	申請 者数	利用された資料の種類及び点数								複写 枚数	提供 データ 枚数
		市公文 書等	市行政 資料	図書等	写真・絵 葉書等	地図・航 空写真	寄贈資 料等	市史編さ ん資料	計		
4 月	21	29	15	22	39	2	22	1	130	102	39
5 月	85	36	87	8	39	1	16	1	188	286	170
6 月	128	26	124	6	60	10	30	4	260	721	157
7 月	110	43	98	35	173	12	280	5	646	305	153
8 月	64	29	46	16	390	3	48	0	502	347	349
9 月	69	22	111	31	14	6	8	3	195	402	51
10 月	67	57	47	50	5	6	150	8	323	416	29
11 月	69	22	63	39	44	5	60	1	234	1,186	109
12 月	47	2	64	9	321	4	41	3	444	1,281	658
1 月	43	3	51	0	7	9	78	0	148	432	81
2 月	62	3	28	15	32	1	1,049	7	1,135	183	57
3 月	74	17	67	46	31	3	100	1	265	356	91
計	839	289	801	277	1,125	62	1,882	34	4,470	6,017	1,944

職員利用（令和２年度）

月	申請者数	利用された資料の種類及び点数								複写枚数	提供データ枚数
		市公文書等	市行政資料	図書等	写真・絵葉書等	地図・航空写真	寄贈資料等	市史編さん資料	計		
４月	６	60	１	０	２	０	０	０	63	８	51
５月	11	11	８	０	４	０	２	０	25	６	９
６月	13	１	８	０	６	５	２	４	26	38	８
７月	６	16	７	０	47	０	０	０	70	45	47
８月	11	０	11	５	１	１	１	０	19	０	３
９月	11	３	15	２	３	０	０	０	23	21	１
10月	21	16	63	３	57	０	19	２	160	36	27
11月	21	５	８	11	４	９	８	３	48	36	15
12月	15	６	５	３	107	０	２	２	125	13	183
１月	14	11	13	３	０	０	１	１	29	16	３
２月	８	２	16	１	１	０	65	０	85	146	65
３月	14	２	31	４	42	０	16	０	95	39	56
計	151	133	186	32	274	15	116	12	768	404	468

(5) レファレンス受付件数（令和２年度）

（単位：件）

区 分	件 数
利 用 案 内	537
所 蔵 照 会	441
調 査 相 談	163
合 計	1,142

2 広島市刊行物の販売

昭和 62 年度から本市の有償刊行物等の販売を行っている（平成元年度からは、区役所区政調整課〈中区を除く〉でも販売）。

令和 2 年度中に公文書館で取り扱った刊行物（公文書館発行の刊行物で区役所区政調整課等において取り扱ったものを含む）は 79 種類。うち、18 種類 131 冊を販売した。

Ⅲ 収蔵資料の概要

1 収蔵資料数

公文書館が引継ぎ・寄贈・寄託等で収蔵した資料のうち、整理が完了した資料は次表のとおりである（冊子目録、デジタルアーカイブ・システムへの登録が完了したもの）。

《令和2年度末収蔵資料点数》

（単位：点）

種 類	点数(点)
歴史資料文書	42,312
役場文書	41,347
その他の歴史資料文書	965
行政資料（本市行政資料）	31,050
図書資料（他都市行政資料等）	61,594
その他文書等資料	12,249
地図・地形図原図等	5,784
写真・絵葉書（寄託分を含む）	約 97,000

2 主要な収蔵資料

広島を伝える主要な収蔵資料は次のとおりである。

検索手段を【 】で補記した。

- 【冊】 寄贈者・形態別の資料の冊子目録
- 【受贈Ⅰ】、【受贈Ⅱ】 受贈資料目録Ⅰ・Ⅱ
- 【役場補遺Ⅰ】、【役場補遺Ⅱ】 役場文書目録補遺Ⅰ又はⅡ
- 【紀要○】 公文書館紀要掲載目録
- 【DB】 デジタルアーカイブ・システム

(1) 市民からの寄贈・寄託によるもの

- ・ **重家豊氏資料** 4,582 件【冊】
 - … 県内社会・労働運動関係資料
- ・ **山木茂氏資料** 2,393 件【冊】
 - … 社会・労働運動関係資料
- ・ **任都栗司氏資料** 195 件【冊】
 - … 原爆被爆者援護活動関係資料
- ・ **広島市復興青年運動資料** 234 件【冊】
 - … 原爆被爆後の復興期における青年運動関係資料
- ・ **都築正男氏資料** 645 件【紀要 5】
 - … 原爆投下直後の被爆者治療及び原子爆弾症に関する調査研究資料
- ・ **新藤兼人氏資料** 130 件【紀要 5】
 - … 自筆映画シナリオ、著書
- ・ **谷口盛行氏資料** 43 件【紀要 15】
 - … 第 1 回国勢調査(大正 9 年)関係資料

・ **横山雅昭氏資料** 113 件【紀要 15】

… 江戸時代後期の沼田郡相田村に関する絵図及び但馬国出石郡伊豆村から相田村への病人の村継送り文書

・ **永濱家文書** 971 件【紀要 24】

… 幕末から明治にかけての広島藩、広島県の公文書ほか

・ **橋本秀夫氏資料** 92 件【紀要 24】

… 広島城、不動院の図面など、広島の歴史的建造物に関する資料

・ **渡邊彌蔵氏資料** 650 件【紀要 31】

… 明治から戦後に至る広島の音楽活動に関する資料

・ **矢吹憲道氏資料** 70 件【受贈Ⅰ・DB】

… 昭和初期の社会事業、原爆被爆後の救援活動、広島児童文化会館の創設関係資料

・ **寺光忠氏資料** 40 件【受贈Ⅰ・DB】

… 「広島平和記念都市建設法」の制定過程関係資料

・ **藤本千万太氏資料** 69 件【受贈Ⅰ・DB】

… 「広島平和記念都市建設法」の制定過程関係資料

・ **草津南町総代資料** 148 件【受贈Ⅰ・DB】

… 大正期から昭和 22 年までの同町の町内会・青年会等関係資料

・ **坂本忠之氏資料** 87 件【受贈Ⅰ・DB】

… 明治末期から昭和 23 年までの矢賀町内会関係資料

・ **山田隆夫氏資料** 87 件【受贈Ⅰ・DB】

… 戦時中の防空関係資料、昭和初期から 30 年代にかけての広島市の広報・税・国民健康保険関係資料など

・ **原田威夫氏資料** 55 件【受贈Ⅰ・DB】

… 明治から昭和初期までの旧安佐郡安村村会関係資料、沼田高等小学校を運営していた学校組合関係資料など

・ **弓野正彦氏資料** 7 件【受贈Ⅰ・DB】

… 原爆投下後に入市した陸軍軍医少佐弓野勲氏の主に医学面での原爆被害に関する記録類

・ **前田良孝氏資料** 9 件【受贈Ⅰ・DB】

… 日中戦争関係写真（101 枚）、昭和初期の広島逓信局発行の書状、文書など

- ・ **下前一郎氏資料** 122 件【受贈Ⅱ・DB】
 … 明治中期から昭和 20 年までの旧沼田郡
 祇園村の町政関係資料など
- ・ **斗樹正氏資料** 216 件【受贈Ⅱ・DB】
 … 戦中戦後の学校関係資料
- ・ **佐藤重夫氏資料** 63 件【受贈Ⅱ・DB】
 … 原爆ドーム保存関係資料
- ・ **大儀正夫氏資料** 420 件【役場補遺Ⅰ】
 … 主に土地・土木事業に関する旧安芸郡中
 山村役場文書
- ・ **中山地区社会福祉協議会資料** 321 件【役場補
 遺Ⅰ】
 … 主に明治前期の地租改正に関する旧安
 芸郡中山村役場文書
- ・ **登清氏資料** 492 件【役場補遺Ⅱ】
 … 旧高宮郡岩上村の近世から明治初期にか
 けての文書など
- ・ **高野泉氏資料** 5,085 件【閲覧室ファイル】
 … 戦後広島市の演劇活動に関する資料
- ・ **輝本親孝氏資料** 824 件【閲覧室ファイル】
 … 戦後広島市の演劇活動に関する資料
- ・ **明田弘司氏寄託写真** 38,806 件【DB】
 … 昭和 27 年から平成 18 年までに撮影さ
 れた市内・県内等で撮影された写真。復興
 する街や人々の営みを記録。
- ・ **渡辺襄氏撮影写真** 816 件【DB】
 … 昭和 11 年から 13 年までの市内の風景
 や家族、市民生活を撮影した写真
- ・ **飯田邦夫氏撮影写真** 186 件【DB】
 … 昭和 20 年代後半を中心とする市内の風
 景・イベント等の記録写真

(2) その他歴史資料

- ① 戦前の広島市関係資料
 - ・ 行政ポスター、チラシ
 - ・ 市街地図
 - ・ 広島名所等の絵はがき
 - ・ 版画「広島名所」(明治 27 年)
 - ・ 福井芳郎画伯のスケッチ画
 (「がんす横丁」の挿し絵ほか)
 - ・ 市街地撮影写真
- ② 戦後の広島市関係
 - ・ 戦後復興過程資料
 - ・ 政令指定都市移行時の公文書及び行政資料
 - ・ 市街地撮影写真・航空写真
 - ・ 小倉豊文著「絶後の記録」各国語版

3 デジタルアーカイブ・システム

公文書館収蔵資料の整理、迅速な検索及び市民への公開を行うため、平成 26 年 1 月、収蔵資料の目録情報と画像データを登録・管理する「広島市公文書館デジタルアーカイブ・システム」を導入した。平成 27 年 10 月から絵葉書・写真等の画像や目録情報の Web 公開を行っている。

《デジタルアーカイブ・システム登録件数》

(令和 3 年 3 月 31 日現在)

(単位：件)

区 分	内 容	公開件数
公文書等	役場文書、歴史資料 文書、市史編さん資 料、個人寄贈文書等	89,560
刊行物等	市行政資料、他都市 行政資料、図書、ポス ター、チラシ等	87,769
地図・航空写真	地図、地形図、航空写 真等	5,394
写真・絵葉書	写真・絵葉書	14,258
映像・音声	レコード、カセット テープ等	3
計		196,984

《令和 2 年度登録件数》

・ 公文書 広島原爆戦災誌編さん資料等	1,100 件
・ 刊行物等 市行政資料・図書等	1,273 件
・ 地図・航空写真 市街地図・地形図	494 件
・ 写真・絵葉書 広報課撮影写真、個人写真等	1,974 件

IV 歴史資料の収集・整理・保存

市民の利用及び市史編さんの参考資料として、公文書館では、歴史的・文化的資料として保存価値を有する文書を歴史資料として収集・保存している。

1 歴史資料の種類

公文書館で保存している歴史資料を大まかに分類すると次のとおりである。

- ① 歴史資料文書
 - ・近世から合併時までの役場文書
 - ・永年保存文書のうち、歴史的文化的な価値のある文書
 - ・市の保存年限を経過した文書のうち、歴史的文化的な価値のある文書
 - ・市史編さん資料
- ② 市刊行物その他行政資料
- ③ 広島に歴史に関する記録、図書、地図、絵はがき、写真、ポスター等

《資料の収集基準》

- (1) 市の組織及び機能並びに政策の検討過程、決定、実施及び実績に関する重要な情報が記録された公文書等
- (2) 市民の権利及び義務に関する重要な情報が記録された公文書等
- (3) 市民を取り巻く社会環境、自然環境等に関する重要な情報が記録された公文書等
- (4) 市の歴史、文化、学術、事件等に関する重要な情報が記録された公文書等

2 歴史資料の整理

(1) 役場文書（歴史資料文書）

合併町村が作成又は保存していた文書「役場文書」は、町村ごとに整理を行い、冊子目録を作成して利用に供している。

目録情報は、デジタルアーカイブ・システムに順次登録している。

(2) 各課引継資料（歴史資料文書）

歴史資料文書として引き継いだ文書等の資料は、課又は業務内容ごとに整理し、冊子目録やデジタルアーカイブ・システムにより目録情報を公開し、利用に供している。

令和2年度は、燃料会館関係資料1点の登録を行った。

(3) 市史編さん資料（歴史資料文書）

市史編さんに伴い収集した資料については、編さん事業完了後整理を行い、デジタルアーカイブ・システムに登録し、利用に供している。

令和2年度は、「広島原爆戦災誌」編さん資料881点の登録を行った。

(4) 寄贈資料等

市民からの寄贈等により受け入れた歴史資料は、寄贈者や資料種別ごとに整理を行い、冊子目録を作成して利用に供している。

また、順次デジタルアーカイブ・システムに登録し、画像や目録情報を公開している。

3 寄贈の受入れ

令和2年度は、3人（団体）から5件の資料の寄贈を受けた。

4 マイクロフィルム

歴史資料のうち、原本の汚損・棄損のおそれのあるものや現物を入手できないものは、マイクロフィルムにより保存し、利用に供している。

《マイクロフィルムで管理している主な歴史資料》

- ・芸備日日新聞（明治27.9～大正7.5）※
- ・中国新聞（明治25.5～7、同25.10、同33.1～平成25.9）※
- ・朝日新聞広島版（大正4.10～平成13.12）※
- ・官報（昭和21.1～平成11.12）
- ・県報等広島県の公報（明治7～44）

※一部欠号あり

5 歴史資料目録の作成状況

(1) 役場文書目録

(単位：件)

目 録 名	刊行 年月	収録 件数
戸坂村役場文書目録 ※	S54.3	3,976
大林村役場文書目録 ※	S55.3	3,964
狩小川村役場文書目録 ※	S57.3	4,187
志屋・戸山・八木村外役場文書目録 ※	S58.3	2,333
瀬野村役場文書目録 ※	S59.3	4,391
日浦・船越村外役場文書目録 ※	S60.3	1,969
温品・矢野・熊野跡村外役場文書目録 ※	S61.3	6,453
五日市町外役場文書目録 ※	S62.3	1,834
役場文書目録補遺編〔Ⅰ〕	H3.3	1,939
役場文書目録補遺編 Ⅱ	H5.3	1,497
瀬野川町・熊野跡村役場文書目録	H10.3	1,197
安古市町・矢野町役場文書目録	H11.3	788
安芸町役場文書目録	H12.3	1,939
祇園町・船越町役場文書目録	H13.3	704
安佐町・可部町役場文書目録	H14.3	1,608
白木町役場文書目録	H15.3	617
高陽町役場文書目録	H16.3	263
砂谷・上水内・水内村外役場文書目録 ※	H21.3	1,688
計		41,347

※はデジタルアーカイブ・システム登録済み資料。
以下同じ。

(2) その他の歴史資料目録

《冊子目録》

(単位：件)

目 録 名	収録件数
重家豊資料目録	4,582
山木茂資料目録	2,393
任都栗司資料目録	195
広島市復興青年運動資料目録	234
受贈資料目録Ⅰ ※	1,230
絵はがき目録 ※	2,214
写真目録(広報課撮影分) ※	4,530
受贈資料目録Ⅱ ※	1,030
広島市域地形図原図目録 ※	2,719
計	19,127

《「公文書館紀要」掲載目録》

(単位：件)

掲載号	目 録 名	収録件数
5 号	都築資料目録	645
5 号	新藤兼人資料目録	92
15 号	横山雅昭氏寄贈資料目録	113
15 号	谷口盛行氏寄贈資料目録	22
24 号	永濱家文書仮目録	971
24 号	橋本秀夫氏旧蔵資料目録	92
31 号	渡邊彌蔵所蔵資料目録	650
	計	2,585

V 行政資料等の収集・管理・提供

1 本市行政資料

本市が作成した行政資料を集約し、保存・提供するため、行政資料登録制度に基づき登録を行い、デジタルアーカイブ・システムにより目録情報を公表している。また、登録した資料は閲覧室に配架し、市民の利用に供している。

- ・令和2年度登録件数 521 件
- ・令和2年度末登録件数（累計） 31,154 件

2 図書等（他都市の行政資料等）

他都市・県・国等の行政資料、一般図書についても本市行政資料と同様に登録し、利用に供している。

- ・令和2年度登録件数 206 件
- ・令和2年度末登録件数（累計） 61,431 件

VI 所蔵資料等の利用促進事業

1 令和2年度の展示会開催状況

館内のロビー等を利用して、時機を捉えたテーマの企画展や新たに収集した資料を紹介する新収資料展等、小規模な展示会を開催している。

- ・「新収資料展」
令和2年3月2日～7月10日
開催場所 公文書館
入場者数 937 人
- ・企画展『『あの日』の記憶 ―広島原爆戦災誌編さん資料から振り返る―』
令和2年7月27日～9月14日
開催場所 公文書館
入場者数 368 人
- ・企画展「国勢調査100年記念展 近代広島における豊かさと働き方」
令和2年9月23日～11月27日
開催場所 公文書館
入場者数 495 人
- ・ロビー展「絵はがきからたどる広島あの頃 ―市街中心部―」
令和2年12月7日～令和3年4月30日
開催場所 公文書館
入場者数 868 人（※3月31日までの入場者）

2 ホームページでの情報発信

(1) デジタルギャラリーでの資料紹介

利用要望の多い写真等資料について、来館しなくても Web 上で閲覧及びダウンロードできるようホームページ上専用の Web サイト「デジタルギャラリー」を開設（令和2年6月12日開設）。

《令和2年度公開状況》

ア 写真・絵葉書に見る広島

広島市の街と市民の歴史を伝える写真や絵葉書をテーマに添って紹介している。

- ・「写真絵はがきに見る戦前の広島市の街と市民の暮らし」（戦前の絵葉書100枚）

イ 広島市基礎資料

広島市の作成した昭和30年以前の市勢要覧

や、統計資料の市政をのしる基礎的な資料をデジタル化し、PDF ファイル等で公開（令和 2 年 10 月 12 日開設）

- ・広島市事業報告書並財務表（昭和 20～29 年）
- ・広島市勢要覧（昭和 21 年版～昭和 30 年版）
※ 昭和 29 年は発行なし

(2) Web 展示会での資料紹介

来館できない方にも展示会で紹介した資料を閲覧・利用していただけるよう、展示した資料の画像データと解説を本市ホームページ上に掲載しているもの。令和 2 年 6 月 12 日公開開始

《令和 2 年度公開状況》

- ・「新収資料展」（概略版）（令和 2 年度開催）
- ・『『あの日』の記憶 ―広島原爆戦災誌編さん資料から振り返る―』（令和元年度開催）
- ・「近代広島における豊かさと働き方」（令和 2 年度開催）
- ・「復興の礎として―平和都市建設法と広島―」（令和元年度開催）
- ・「絵はがきからたどる広島あの頃―市街中心部―」（令和 2 年度開催）

VII 公文書館「紀要」の刊行

公文書館が所蔵している公文書等に係る調査・研究及びこれに関連した広島市史研究の成果を公表するため、昭和 53 年 3 月に創刊した。一時中断していたが平成 24 年度に再開し、令和 2 年度は第 33 号を刊行した。

第 33 号の内容（令和 2 年度発行）

- ・村上宣昭（広島市交通科学館副館長）
「陸軍運輸部の誕生」
- ・石川遥（広島市公文書館歴史資料専門員）
〈資料紹介〉疫禍と闘う広島
- ・伊藤公一（広島市公文書館歴史資料専門員）
〈資料紹介〉安芸中野駅の設置と地域社会 ―中野村役場文書から―
- ・〈報告〉「被爆 70 年史編さん資料コーナー」の開設について

第 32 号の内容（平成 31 年度発行）

- ・曾根幹子（広島市立大学名誉教授）
「戦没オリンピック」をめぐる調査と課題―広島県出身選手を事例に―
- ・石川遥（広島市公文書館歴史資料専門員）
昭和戦前期広島市の町と市民の様相―草津南町を例として
- ・伊藤公一（広島市公文書館歴史資料専門員）
〈展示会報告〉近現代広島の都市化と地域社会―肥料をめぐる都市と農村の交錯―
- ・檜垣榮次
〈資料紹介〉広島市公文書館所蔵「畑賀村年貢免状」（役場文書）
- ・渡辺琴代（広島市公文書館主幹）
〈資料紹介〉広島原爆戦災誌編さん資料

第 31 号の内容（平成 30 年度発行）

- ・松井輝昭
御供船の盛衰と「船」―広島と管絃祭との関わりについて―
- ・能登原由美
〈資料紹介〉渡邊彌蔵資料とその意義―明治から戦後に至る広島の洋楽普及の観点から―
- ・中川利國（被爆 70 年史編修研究会事務局長）
〈研究ノート〉―占領期における広島発信の試み―『広島平和都市建設構想案』と『原爆体験記』
- ・伊藤公一（広島市公文書館歴史資料専門員）
〈研究ノート〉―安芸郡矢野村における明治前期

出生者の乳幼児・児童・青年期をめぐってー

- ・『広島市被爆 70 年史ーあの日までーそして、あの日から 1945 年 8 月 6 日ー』の刊行をふりかえって

第 30 号の内容 (平成 29 年度発行)

- ・石丸紀興、千葉桂司、矢野正和、山下和也
〈研究報告〉基町／相生通り (通称「原爆スラム」)
調査を回想する〈後編〉
- ・中川利國 (被爆 70 年史編修研究会事務局長)
〈研究ノート〉占領期における広島発信の試み〜映画『平和記念都市ひろしま』
- ・濱保仁志 (広島市公文書館歴史資料専門員)
〈所蔵資料紹介〉カーブ関係寄贈資料
- ・〈展示会報告〉文書と写真でたどる旧広島市民球場
- 旧広島市民球場開場 60 年記念展示 -

第 29 号の内容 (平成 28 年度発行)

- ・石丸紀興、千葉桂司、矢野正和、山下和也
〈研究報告〉基町／相生通り (通称「原爆スラム」)
調査を回想する〈前編〉
- ・中川利國 (広島市公文書館長)
〈研究ノート〉占領期における A B C C 広島原爆
傷害研究所の整備と広島復興について
- ・柳下登志子 (被爆 70 年史編修研究会事務局)
〈資料〉広島興行場施設略年表ー戦前編ー
- ・石川遥 (広島市公文書館歴史資料専門員)
〈所蔵資料紹介〉沼田郡中調子村と高宮郡岩上村
の山論関係資料

第 28 号の内容 (平成 27 年度発行)

- ・能登原由美 (「ヒロシマと音楽」委員会委員長)
機関紙にみる広島労音ー発足から十年の歩み
- ・光平有希 (総合研究大学院大学 博士後期課程)
広島流川教会における復興と音楽との歩み、及び
その原点ー谷本清・太田司朗を中心にして
- ・檜垣栄次
〈資料紹介〉広島市公文書館所蔵「船越村年貢免状」(竹内家文書)
- ・中川利國 (広島市公文書館長)
〈研究ノート〉占領軍資料を中心とする広島市復興
顧問と復興計画への一考察
- ・西本雅実 (中国新聞編集委員)
「平和記念都市ひろしま」ー知られざる記録映画

VIII 市史の編さん

公文書館では、昭和 61 年 3 月の市史編さん室廃止に伴い、その業務を引き継ぎ、これまでに「図説広島市史」、「戸坂村史」、「中山村史」、「井口村史」、「図説戦後広島市史」、「図説戦後広島市史」(再版)、「広島市被爆 70 年史」などを刊行した。

1 市史編さん事業の概要

(1) 公文書館発足前の市史編さん

「広島市史」(全 6 巻) ……大正 11~13 年刊行
「概観広島市史」……………昭和 30 年刊行
「新修広島市史」(全 7 巻) ……昭和 33~37 年刊

(2) 「広島新史」

- ・事業年度 昭和 50~60 年度
- ・総事業費 233,937 千円
- ・発行部数
全 13 巻 各 3,000 部(有償・無償各 1,500 部)
- ・内 容

昭和 50 年の被爆 30 周年記念事業として昭和 20 年 8 月以降の広島市の戦後史として、復興と平和記念都市建設という独自の性格に立つ本市の歩みを、歴史学、文化人類学、法社会学、経済学、行政学、財政学、地理学、社会学など多くの分野から概説。

(3) 「図説広島市史」

- ・事業年度 昭和 63 年度
- ・総事業費 40,493 千円
- ・発行部数
5,500 部(有償 2,360 部 無償 3,140 部)
- ・内 容

平成元年の市制施行 100 周年・築城 400 年の記念事業として「広島市の自然」「原始から広島築城まで」「城下町広島」「近代都市広島」「平和都市広島」をテーマに写真、絵、地図等の図像資料により広島の歴史を分かりやすく紹介し、さらに「広島のみやま」「広島城の 400 年」をテーマとして広島の歴史を概説。

(4) 「戸坂村史」「中山村史」「井口村史」

- ・事業年度 昭和 61~平成 3 年度
- ・総事業費 49,663 千円
- ・発行部数
各 800 部(有償 300 部 無償 500 部)
- ・内 容
戦後合併した町村のうち、昭和 61 年時点で

町村史が編さんされていなかった戸坂村、中山村、井口村について各種史資料を基礎に各村の原始以来、合併までの歴史を中心に、その後の歩みを加え編さん。

(5) 「図説戦後広島市史 街と暮らしの 50 年」

- ・ 事業年度 平成 4～7 年度
- ・ 総事業費 105,427 千円(人件費を除く)
- ・ 発行部数
6,500 部(有償 3,500 部 無償 3,000 部)
- ・ 内 容
被爆 50 周年を記念し、被爆の実相に始まり、復興期、発展期を経て政令指定都市期に入った広島市勢及び市民生活の戦後 50 年の歩みを市民向けにわかりやすくとどる本編に、別冊として広島之音を 50 種類収録した CD を作成。

(6) 「図説戦後広島市史」再版

- ・ 事業年度 平成 12～13 年度
- ・ 総事業費 21,272 千円(人件費を除く)
- ・ 発行部数
書籍
5,000 部(有償 4,600 部 無償 400 部)
CD ブックレット
5,350 部(有償 4,600 部 無償 750 部)
- ・ 内 容
2000 年—2001 年記念事業として「図説戦後広島市史 街と暮らしの 50 年」を再版。
別冊の CD を、ヒロシマの被爆体験や核兵器廃絶、世界恒久平和実現への誓いなどをテーマとした曲を収録したものに變更。

(7) 「広島市被爆 70 年史 あの日まで そして、あの日から 1945 年 8 月 6 日」

- ・ 事業年度 平成 26～30 年度
- ・ 総事業費 98,099 千円 (人件費を除く)
- ・ 発行部数
5,000 部 (有償 3,800 部 無償 1,200 部)
- ・ 内 容
被爆 70 周年記念事業として、明治 22(1889)年の広島市誕生から原爆被災を経て復興し、現代に至るまでの広島市の歴史を「都市と市民生活」を基本テーマに、広島市の歴史と被爆の実相をわかりやすく解説。被爆者等市民の証言と復興期等の映像を収録した映像編 (DVD) を附属。

(8) 合併町村史

《本市で編さんしたもの》

区 分	合併年月	刊行年月
戸坂村史	S30.4	H3.2
中山村史	S31.4	H3.2
井口村史	S31.11	H4.1
沼田町史	S46.4	S55.4
安佐町史	S46.5	S52.3
可部町史	S47.4	S51.9
佐東町史	S48.3	S55.3
高陽町史	S48.3	S54.3
瀬野川町史	S48.3	S55.3
白木町史	S48.10	S55.3
新修矢野町誌	S50.3	S55.3
船越町史	S50.3	S56.3

《合併町村で刊行されたもの》

区 分	合併年月	刊行年月
祇園町誌	S47.8	S45.12
安古市町誌	S48.3	S45.12
熊野跡村誌	S49.11	S49.10
安芸町誌	S49.11	S48.3～S50.3
五日市町誌	S60.3	S49.3～S58.5
湯来町誌	H17.4	S61.9～H9.7

IX 文書の引継ぎ・保存・廃棄

事案の処理が完結した後各課で1年間保管された保存年限3年以上の文書は、公文書館が引継ぎ、整理・保存・廃棄を行っている。

1 文書の引継ぎ

令和元年度は次のとおり文書の引継ぎを行った。

- (1) 引継期間：5月29日～3月31日
- (2) 引継課数：31課
- (3) 引継数量：置換ケース換算で709箱

《令和2年度の保存文書引継件数》

区 分	文書箱数（箱）
永年保存文書	66
10年保存文書	69
5年保存文書	534
3年保存文書	40
合 計	709

2 文書の整理・保存

引継ぎを受けた文書（以下「保存文書」という。）のうち永年・10年保存文書については、文書引継書及び目次を整理し、取出しに支障のないよう保存している。

令和元年度は、永年保存文書985件、10年保存文書2,906件について整理を行った。

《永年・10年保存文書の総件数》

（令和3年3月31日現在）

区 分	文書件数（件）
永年保存文書	324,937
10年保存文書	14,470
合 計	339,470

3 歴史資料文書の選別・文書の廃棄

保存文書のうち保存年限を経過した文書については、歴史的・文化的資料として保存価値等を有すると認められるものを選別し、関係課と協議の上、歴史資料文書として引き継ぎ、保存している（令和2年度引継実績1点）。

保存を要しない文書については、廃棄の手続きを行っている。

- ・令和2年度の保存文書廃棄状況 700箱
（3年・5年・10年の保存年限経過文書）

4 マイクロフィルムによる保存

保存文書等は、原本により保存することを原則としているが、繰返し検索・閲覧に供するため原本を損傷する恐れのあるもの、保存スペースが限られているもの等については、マイクロフィルムにより保存している。

- ・令和2年度引継件数 3本

《マイクロフィルムによる保存状況》

（令和3年3月31日現在）

区 分	数量
条例規則原議書、予算見積書、職員業務分担表、出勤簿等	3,367本
設備、営繕関係工事図面	574,926コマ
記者提供資料	152本

※ 公文書館が保存又は所蔵するマイクロフィルムのうち、TACベースのフィルムにビネガーシンドローム（酸化劣化）が発生したため、平成23年度から、TACベースのフィルムに複写する作業を進めている。令和2年度は549本の複製を作成し、劣化したTACベースのフィルムとの置換を行った。

X 情報公開制度・個人情報保護制度

1 情報公開制度

本市では、市民の市政参加を助長し、市政に対する市民の理解と信頼を深め、もって地方自治の本旨に即した市政を推進することを目的として、昭和 61 年 6 月 1 日から公文書公開制度を運用してきた。平成 13 年 4 月 1 日から公文書公開制度を情報公開制度に改め、対象公文書の拡大などを行い、さらに平成 19 年 9 月 28 日からは、何人も開示請求をすることができることとした。

令和 2 年度は《参考》の情報提供サービスを開始したが、令和 3 年度には、金入設計書の情報提供を開始し、一層の情報公開を進める予定である。

公文書館は制度運用に係る事務の指導・助言及び総合窓口として情報公開関係事務を所掌している。

《参考：令和 2 年度から開始した情報提供サービス》

- (1) ホームページからダウンロード可能な情報
 - ・市内の食品営業許可・認定施設一覧
 - ・市内の新規開設した美容所・理容所の施設情報
- (2) 依頼に応じて電子メールで提供する情報
 - ・建設リサイクル法(解体)に係る届出書の写し

《令和 2 年度運用状況等》

(単位：件)

請 求		2,882
処	開 示	2,474
	部 分 開 示	663
	不 開 示	12
理	取 下 げ	81
	文書不存在等	168

※ 1 件の請求について複数の決定を行ったものを含む。

2 個人情報保護制度

本市が保有する個人情報の適正な取扱いを定め、開示等を請求する権利を保障することにより個人の権利利益を保護するとともに、公正で信頼される市政の運営に資することを目的として平成 8 年 10 月に個人情報保護条例を施行し、個人情報保護制度を運用してきた。

平成 16 年 4 月からは、条例を全部改正し、請求の対象となる個人情報の拡大や利用停止請求権の創設など、より制度の充実を図っている。

公文書館は、制度運用に係る事務の指導・助言及び総合窓口として個人情報保護に関する事務を所掌している。

《令和 2 年度運用状況等》

(単位：件)

請 求		123
処 理	開 示	54
	部 分 開 示	52
	不 開 示	1
	取 下 げ	5
	文書不存在等	28
	利用停止等	0

※ 1 件の請求について複数の決定を行ったものを含む。

3 情報公開・個人情報保護審査会

広島市情報公開条例及び広島市個人情報保護条例に基づき、実施機関の諮問に応じ、開示決定等に係る審査請求等について審議するため、広島市情報公開・個人情報保護審査会を設けている。審査会は委員 10 人をもって組織し、任期は 2 年で現委員は令和 4 年 3 月 31 日までの任期となっている。

《情報公開・個人情報保護審査会委員名簿》

(令和 3 年 4 月 1 日現在 50 音順)

氏 名	役 職 名
片木 晴彦	広島大学大学院人間社会科学研究科教授（専攻 商法）
栗原 理	広島消費者協会会長
ジョージ・R・ハラダ	広島経済大学経済学部教授（専攻 憲法）
田邊 誠	広島大学名誉教授
濱野 滝衣	弁護士
日山 恵美	広島大学大学院人間社会科学研究科教授（専攻 刑法）
福永 実	広島大学大学院人間社会科学研究科教授（専攻 行政法）
古川 竜彦	中国新聞社論説委員会室副主幹
松田 健之介	弁護士
向井 淳	テレビ新広島経営推進局専任局長

《不服申立ての状況》

(1) 情報公開関係 (単位：件)

区分	諮問件数		処 理 件 数					
年度	前年度 繰越分	当該 年度分	答 申			(計)	取下げ	次年度 繰越分
			処分妥当	公開すべき (一部開示 を含む)	諮問の 対象外			
平成 30 年度	120	47	25	5	0	30	0	137
令和元年度	137	36	78	11	2	91	0	82
令和 2 年度	82	16	19	21	0	40	1	57

(2) 個人情報関係 (単位：件)

区分	諮問件数		処 理 件 数					
年度	前年度 繰越分	当該 年度分	答 申			(計)	取下げ	次年度 繰越分
			処分妥当	公開すべ き(一部開 示を含む)	諮問の 対象外			
平成 30 年度	18	9	14	1	0	15	2	10
令和元年度	10	3	7	0	1	8	0	5
令和 2 年度	5	2	4	1	0	5	0	2

XI 令和2年度の主なできごと 令和

- | | | | |
|-----|----|----|---|
| 2 | 4 | 17 | 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため閲覧室を臨時休館（～5月17日）。 |
| | | 11 | 「広島市役所配席図・職員一覧」のメール送信等の受付を開始 |
| 5. | 18 | | 閲覧室カウンターにビニールカーテンを設置するなどの新型コロナウイルス感染症感染予防対策を拡充して開館 |
| | 23 | | 資料補修研修（職員研修）実施 |
| 6. | 12 | | ホームページ上に Web 展示室を開設。「新収資料展（概略版）」を掲載 |
| 7. | 27 | | 被爆 75 年企画展示『『あの日』の記録ー広島原爆戦災誌編さん資料から振り返るー』開催（～9月14日） |
| 8. | 5 | | Web 展示室を「Web 展示会」に改称。被爆 75 年企画展示の Web 版をホームページに掲載 |
| | 17 | | ホームページ上に「Web ギャラリー」を開設し、「写真・絵葉書に見る広島」を掲載 |
| | 28 | | 令和 2 年度企画展「復興の礎として - 平和記念都市建設法と広島 -」の Web 版を「Web 展示会」に掲載 |
| 9. | 23 | | 企画展「国勢調査 100 年記念展 近代広島における豊かさと働き方」開催（～11月27日） |
| 10. | 12 | | 「Web ギャラリー」を「デジタルギャラリー」に改称。「広島市基礎資料」を開設し、「広島市事業報告書並財務表」の掲載を開始 |
| 11. | 2 | | 閲覧室内に「被爆 70 年史コーナー」を開設 |
| | 4 | | 国勢調査 100 年記念展示の Web 展示をホームページに掲載 |
| | 19 | | 令和元年度行政文書・古文書保存管理講習会（広島県立文書館） |
| 12. | 18 | | デジタルギャラリー「広島市基礎資料」に「広島市勢要覧」の掲載を開始 |
| | 1. | 29 | マイクロフィルム複製作成（～2月28日） |
| | 2. | 7 | ロビー展「絵はがきからたどる広島あの頃ー市街中心部ー」開催（～4月28日） |
| 3 | 18 | | 7階閲覧室等空調設備が故障 |
| | 3. | 5 | ロビー展の Web 版を「Web 展示会」に掲載 |
| | 12 | | 8階編さん資料室を研修・会議室に用途及び室名を変更し、会議室としての使用を開始。旧研修・会議室を編さん資料室に用途及び名称を変更。 |
| | 24 | | 「広島市公文館紀要」第 33 号を発行 |
| | 31 | | 「新収資料展」の Web 展示をホームページに掲載 |
| | | | 行政情報係、歴史資料係の 2 係制を廃止。（4月1日付） |

分類登録番号	広 D 0 - 2 0 2 1 - 4 6 4
名 称	広島市公文書館事業概要 令和 2 年度版
編修・発行	広島市公文書館 〒730-0051 広島市中区大手町四丁目 1 番 1 号 大手町平和ビル TEL (082)243-2583 FAX (082)542-8831
発行年月日	令和 4 年 (2 0 2 2 年) 3 月 1 日